

# 涌泉寺だより

釈尊は我等が父母なり。一代の聖教は父母の子を教えたる教経なるべし。

(法門可被申様之事)

金子みすゞ記念館館長矢崎節夫さんの講演の記録が掲載された冊子を保育園の関係で頂き、とても素晴らしい講演でしたので、その一部を載せさせていただきますと思います。金子みすゞさんの「犬」という詩ですが、

うちのだりあの咲いた日に  
酒屋のクロは死にました。

おもてであそぶわたしらを、  
いつでも、おこるおばさんが、  
おろおろ泣いて居りました。

その日、学校でそのことを  
おもしろそうに、話してて、  
ふつとさみしくなりました。

「ふつとさみしく」なったのは、自分が最初に自分の言葉を聞いたからです。あなたの言葉はあなたが聞くんだから

ね」と子どもたちに教えてあげて下さい。ということが述べられていました。この講演では言葉の大切さをお話いただいていたのですが、私も自分がどのような言葉をその瞬間発するかで人生を左右するとも思っています。

私自身、言葉に対し感じていることですが、人は言葉を自由に使い話をしていっていると思っていますが、実は言葉に操られているのではないかと思っています。「見るもの聞くものすべては佛の教えなり」という言葉があります。言葉は発する人がいますので、どうしてもその人がどのような人物であるかで判断してしまいます。言葉に発せさせられていると考えるとその言葉だけをしっかりと理解しなくてはならないと思いますし、佛様の教えとなれば、自分に不都合なことでもしっかりと受け止めることができると思っています。

ある知り合いのお坊さんが「信仰の目的は諸佛、諸尊との感応である。」といわれたことがあり、私は見るもの聞くものすべてにメッセージがあると思いたい日々精進することとが、佛様の教えに少しでも近づく機会をいただけるとその時感じました。お自我偈で説かれることにも通じることです。自身がどのような言葉を発するのか、見るもの聞くものは自分に何を教えてくれているのかしつかり考え、佛様、御先祖様の言葉を聞きたいと思えます。



生師廟瓦葺き替え

## お知らせ

### 生師廟改修工事完成

昨年の10月より着工いたしました工事も無事に完成し、総代・堂講・業者さん等出席いただき3月30日に完成式を執り行いました。お陰さまで事故なく工事を終えられ、感謝しております。

7月24日が日生上人のご命日ですので立本寺貫主様はじめ法縁（松ヶ崎壇林関係者）のお上人が毎年お参りいただきます。今年は立派に完成した生師廟を拝見され皆様喜んでおられました。

今回の工事と合わせて、周辺樹木の整備と生師廟北側の水路の整備も行っております。建物周辺の環境を良くすることで末永く護持していけることと思います。まだ未定でありますが本堂と合わせ京都市文化財の指定を受けれるように、文化財保護課の担当者にお願ひしています。「来年度には少し可能性があるかも」といつていただいております。是非指定いただけるように念じております。

### 大覚大僧正650遠忌

春の彼岸会法要終了後にもご案内させていただいた様に、4月7日に本山立本寺様で大覚大僧正650遠忌法要が行われ、当山から総代・堂講さんはじめお檀家様もご出席いただきました。当日は法要に先立ち狂言、法話が行われ400名程の全国各地からのお参りの方で厳かに法要が営まれました。現在の貫主様はお隣の妙円寺様の上田貫主様で、晋山以来本山のためにご尽力いただき、今まで以上に本山を盛りたてていただいております。お庭も歴史が古く随分と整備されています。皆様も一度お参りいただきたいと思ひます。

涌泉寺庫裏の前にお題目の碑がありますが、この碑のお題目は大覚大僧正のものであるといわれています。大覚大僧正は当山の第三世でもありますので4月28日に碑の前で総代・堂講さんと一緒にお報恩のお参り致しました。その後大覚大僧正とゆかりの深い大本山妙顕寺にも参拝し、御遺徳をしのびながら会食を致しました。

### 庫裡の催し

毎年恒例になってきました落語会を今年も5月19日曜日に行いました。桂よね吉さんもいろいろとご活躍されており、私も毎年楽しみに聞かせていただいております。当日は落語会初めての雨でしたが沢山の方にお越しいただきました。ありがとうございました。

今年の3月より月2回程度ヨガの会場として使用していただいております。先生はまだお勉強中であるといわれていますが、保育園の保護者の方がされています。ご興味のある方はおたずね下さい。

11月下旬には写真の個展の開催が決まっております。詳細は近くなりましたらホームページ等でご案内させていただきます。庫裏を有効に活用し沢山の方に親しみを持っていただけるお寺になれば有り難いです。ご使用を希望される方はご相談いただければと思ひます。よろしくお願ひします。

今年もお陰さまでお盆をお迎えできます。日々の護持へのご協力ご理解に感謝いたします。